

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 金曜 2校時	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	日本国憲法(個人と国家) The Constitution of Japan (Individual and State)		
対象年次 1～2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人文・社会科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: <b>井田洋子</b> /Eメールアドレス: smile@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 経済学部本館209 /オフィスアワー: 金曜日 15:00～17:00			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 日本国憲法のもつ普遍的原理としての、基本的人権の尊重・国民主権・権力分立・違憲立法審査制といった規定と、独自の価値としての、戦争放棄及び象徴天皇制とについて、それぞれ他国の憲法と比較しながら考察をおこなう。そうした考察を通じて、現日本国憲法の存在意義を改めて確認する。</p> <p>授業方法: 講義様式。毎回、講義内容を要約したレジュメを配布する。また、テーマによっては、それに関係の深い判例を配布する。</p> <p>授業到達目標: 受講生が、①憲法の存在を身近なものとして捉えること、②さまざまな憲法問題を自らにも深くかかわる問題として認識すること、③近い将来、改めて浮上するであろう憲法改正論議に対して、主権者として主体的に関わり、かつ考えようとする意識を持つこと、の3点をめざす。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>最初に、憲法を学ぶ上で欠かせない基本概念—国家、基本的人権、国民主権、民主主義等—を一通り説明する。その後、人権問題、国家権力を巡る問題、戦争放棄を巡る問題等、多岐にわたる問題の中から、毎回ひとつずつテーマを選び、そのテーマに関して、国内外の具体的事例に触れながら考察をおこなう。</p> <p>第1回 憲法とはなにか 基本概念の説明—法治国家・基本的人権・国民主権・民主主義等</p> <p>第2回 日本国憲法制定過程</p> <p>第3回 象徴天皇制</p> <p>第4回 法の下での平等1 国民主権と選挙</p> <p>第5回 法の下での平等2 男女平等</p> <p>第6回 信教の自由</p> <p>第7回 表現の自由1</p> <p>第8回 表現の自由2</p> <p>第9回 表現の自由3</p> <p>第10回 人身の自由</p> <p>第11回 社会権</p> <p>第12回 国家権力の構造1 立法権と行政権</p> <p>第13回 国家権力の構造2 司法権</p> <p>第14回 戦争放棄</p> <p>第15回 憲法改正</p>			
キーワード	個人・国家・民主主義・		
教科書・教材・参考書	大隈義和・大江正昭編『憲法学へのいざない』青林書院 『ポケット立法』有斐閣、『基本六法』岩波書店等、いずれかの六法書		
成績評価の方法・基準等	レポート30%定期試験70%の総合評価。なお、出席率が低い場合には、定期試験受験資格を失うものとする。		
受講要件(履修条件)	特になし。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			